丹波市総合計画　令和5年度　施策評価シート

まちづくりの目標	4	美しい自然と環境を大切にする源流のまち
施策目標	1	【環境保全】市民ぐるみで環境保全を進め、快適で住みよい丹波市にしよう
施策の展開	① ② ③	環境保全に関する情報提供の充実 自然環境との保全と創造 環境美化の推進

施策担当課	環境課
関係課	環境課

1　施策の現状・推移

5年後のまちの姿	・市民一人ひとりが環境保全に関心をもって暮らしている。 ・市民・事業者、地域、行政の協働により、豊かな自然環境を保全する活動が実践され、緑に囲まれた美しく快適なまちが保たれている。

2　成果指標・コストの推移

		単位	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
成果指標	丹波市一斉クリーン作戦への参加者数	人	目標	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	
			実績	13,025	－	9,707	10,839	9,738		
	丹波市一斉クリーン作戦ごみ回収量	t	目標	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	
			実績	6.9	3.7	7.2	6.2	4.5		
	住んでいる地域は、ゴミのないきれいなまちであると思う市民の割合	%	目標	71.0	71.0	71.0	71.0	71.0	71.0	
			実績	67.0	62.5	62.0	63.3	69.0		
			目標							
			実績							
コスト	人件費	千円	実績	19,168	18,846	20,036	18,434	29,115	—	
	事業費	千円	実績	88,300	103,859	98,790	93,152	97,535	—	
	計	千円	実績	107,468	122,705	118,826	111,586	126,650	—	
	うち一般財源	千円	実績	82,659	91,133	91,876	82,659	98,317	—	

3　環境変化

国・県の方針、関連法令の動向	・大気汚染防止法、兵庫県の環境の保全と創造に関する条例等環境に係る各法令に基づき、市民が健康で安全かつ快適な生活を営むことのできる自然環境及び生活環境の保全を図る。
市民ニーズの動向	・市民の環境美化や環境保全に対する意識は高いものがあり、自治会や団体等による丹波市一斉クリーン作戦が実施されている。 ・公害等に係る苦情は依然として多く、生活の個別化、地域コミュニティの希薄化による公害以前のご近所トラブルが増加している。

4　評価

目標の達成状況は順調か。達成していない原因は何か。	・各自治会等市民の環境美化活動による丹波市一斉クリーン作戦の取組が定着している傾向にあるが、令和5年度はコロナウィルス感染対策を考慮し中止した自治会もあり令和元年度よりも取組数は減少している。 ・毎年実施している市民意識調査では、ゴミのないきれいな街であると感じている市民の割合は増加している。
環境変化を踏まえた施策展開となっているか。	・環境の保全と創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための環境基本計画については、令和4年度以降の数値目標や社会情勢の変化などを盛り込むため、令和3年度に改定した。 ・ゴミの不法投棄については、市民の関心も高く、環境パトロールにより毎日市内を巡視し、不法投棄ごみの回収を行っている。また、地域住民参加による自治会等が主体となった丹波市一斉クリーン作戦の促進を図っている。 ・飼い主のいない猫の増加を抑制するための不妊・去勢手術費の助成を行い、地域での取組を促している。 ・令和3年度から令和7年度までの5年間を対象に丹波市斎場の運営について、指定管理者へ委託した。 ・氷上斎場を廃止して柏原斎場1か所で業務を行うための更新工事を令和5年度に開始した。
事業の構成や役割分担で見直しの余地がないか。	・市民、事業所、市が一体となり、それぞれの立場から参画と協働の取組を行うことを基本として施策を実施する。 ・丹波市一斉クリーン作戦については自治会の参画により実施している。 ・令和9年度から丹波市斎場について、柏原斎場と氷上斎場2施設での運営を柏原斎場に統合する。

5　今後の改革方向

施策の今後の方向性、構成する事務事業の見直し案	・不法投棄や野焼き行為は、市民自らに係わることのため広報等啓発を随時行う。 ・丹波市一斉クリーン作戦の参加人数について、目標達成に向け市民への啓発活動を進める。 ・兵庫県が策定した猫の適正管理普及推進のためのガイドラインや丹波市地域猫活動の手引きを活用し、地域猫活動を推進していくとともに、地域猫活動団体が実施する不妊・去勢手術費用の一部助成を行い、各地域が主体的に「猫の問題」に取り組んでいけるよう、サポートを進める。

●構成する事業一覧　（令和　5　年度実施事業）

事務事業名	予算小事業名	人件費【千円】	事業費【千円】	計・千円	うち一般財源	必要性	効果性	コスト	公平性
公害対策事業		11,794	14,556	26,350	26,114	A	B	B	該当なし
	公害対策事業								
	環境保全事業								
斎場管理運営事業		9,409	80,568	89,977	64,410	A	A	A	A
	斎場管理運営事業								
畜犬等関連事業		7,912	2,411	10,323	7,793	A	A	A	A
	畜犬等関連事業								
合計		29,115	97,535	126,650	98,317				

丹波市総合計画　令和　5　年度事務事業評価　／　令和　6　年度実施計画

事務事業名	公害対策事業				
事業担当課	生活環境部　環境課		事業期間	平成　16 ～　無期　年度	
	所属長	澤田　知寿	担当	大森　栄司	担当

位置づけ			
総合計画	まちづくり目標	【４】美しい自然と環境を大切にする源流のまち	
	施策目標	1【環境保全】市民ぐるみで環境保全を進め、快適で住みよい丹波市にしよう	
創生総合戦略	基本目標		
	施策		
まちづくりビジョン	取組項目		
根拠法令・個別計画等	騒音・振動規制法、県環境の保全と創造に関する条例、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、市環境基本条例、市旅館業等建築に関する条例、市家畜飼養施設に関する条例		

計画（PLAN）				
事務事業	対象（誰を、何を）	市民、自治会、事業所		
	目的 ベストな状態 （期待される効果）	・公害の未然防止、廃棄物の適正な処理を行い、環境美化と市民意識を向上する。 ・市内の豊かな自然環境を保全し、快適な暮らしを支え、良好な生活環境の安定を維持する。		
	概要 （具体的手段・全体計画）	・不法投棄への対応、監視カメラ等による防止対策、環境パトロールの実施 ・公害苦情処理、調査 ・環境法令に基づく届出、許可申請 ・丹波市公害防止対策推進協議会会員への公害防止研修の実施及び情報提供 ・クリーン作戦等による環境美化活動 ・実施方法：直接実施、業務委託		
	令和５年度の事業概略	・不法投棄への対応 ・公害苦情処理、調査 ・関係法令に基づく届出、許可申請業務 ・各種環境団体との連携 ・クリーン作戦等環境美化	令和６年度の事業概略	・不法投棄への対応 ・公害苦情処理、調査 ・関係法令に基づく届出、許可申請業務 ・各種環境団体との連携 ・クリーン作戦等環境美化

実施（DO）

コスト（単位：千円）（評価年度は実績、計画年度は予算）	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
歳出　総事業費　A＋B	23,114	24,676	28,855	25,294	26,350	34,648	
直接事業費A	10,104	15,049	15,924	15,182	14,556	22,854	
総人件費計（E＋H）B	13,040	9,627	12,931	10,112	11,794	11,794	
職員従事者数（人・年）C	1.50	0.99	1.09	0.68	0.84	0.84	
【平均人件費】D	7,400	7,460	7,620	7,430	7,540	7,540	
人件費E＝C×D	11,100	7,385	8,306	5,052	6,334	6,334	
会計年度任用職員従事者数（人・年）F	0.97	0.95	1.96	2.00	2.00	2.00	
【平均人件費】G	2,000	2,360	2,360	2,530	2,730	2,730	
人件費H＝F×G	1,940	2,242	4,626	5,060	5,460	5,460	
歳入　特定財源	550	417	354	284	236	275	
国・県支出金	550	407	348	278	230	275	
借入金（地方債）	0	0	0	0	0	0	
受益者負担金	0	0	0	0	0	0	
その他特財	0	10	6	6	6	0	
一般財源	22,564	24,259	28,501	25,010	26,114	34,373	

	指標名	単位		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
成果	丹波市一斉クリーン作戦への参加者数	人	目標	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	
			実績	13,025	－	9,707	10,839	9,738		
成果	丹波市クリーン作戦ごみ回収量	t	目標	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	
			実績	6.87	3.71	7.19	6.22	4.48		
活動	典型７公害発生件数	件	目標	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	
			実績	45.0	59.0	52.0	23.0	22.0		
活動	不法投棄件数	件	目標	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	
			実績	41.0	26.0	33.0	17.0	6.0		
活動	住んでいる地域はゴミのないきれいな街であると思う市民の割合	%	目標	71.0	71.0	71.0	71.0	71.0	71.0	
			実績	67.0	62.5	62.0	63.3	69.0		
コスト			目標							
			実績							

指標の推移等の背景・分析	公害苦情等は減少傾向である。公害苦情の内、半数以上が不法投棄と野焼きであり、環境美化に係る地域の身近な問題である。

事務事業名	公害対策事業		
事業担当課	生活環境部　環境課	事業期間	平成　16 ～　無期　年度

評価（CHECK）

事務事業全体の実施（DO）に対する、事務事業の展開の評価・課題について

評価視点	評価	理由・コメント	評価視点	評価	理由・コメント
(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	公害防止対策については、騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法等法令で規制基準が設けられており、行政が主体となり市民の生活環境を保全する必要がある。	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	B	環境パトロール業務は、動物死体等回収業務と併せて業務委託しコストを抑えているが、更に一斉クリーン作戦のような市民参画型ボランティアへの参加意識を高めることで不法投棄の減少と費用の削減を図る。
(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価	B	・不法投棄件数については、警察、丹波県民局、地域と連携し、啓発・指導をしており一定の効果が出ている。 ・クリーン作戦は、コロナウィルス感染対策を考慮し中止した自治会もあった。	(公平性・受益者負担) 公平性に問題はないか。受益者負担検討の余地はないか。	該当なし	

改革（ACTION）

総合的な評価と課題（成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など）

【評価】
平成27年度から公害対応専門員を配置し不法投棄の看板設置や苦情対応等対策を行っているが、依然として不法投棄や公害関係の苦情が一定数あり、市民に環境保全についての意識を変えていく必要がある。
【課題】
各自治会等市民の環境美化活動による丹波市クリーン作戦の取組が定着している傾向にあるが、令和５年度はコロナウィルス感染対策を考慮し中止した自治会もあり令和元年度よりも取組数は減少している。

今後の方向性・改善策等

・広報紙や無線放送による不法投棄や野焼き行為禁止の啓発を引き続き行う。
・重点的に不法投棄対策が必要な個所については、自治会と連携して不法投棄啓発看板や監視カメラを設置するなどの対策を継続する。
・丹波市クリーン作戦の参加人数について、目標達成に向け市民への啓発活動を進める。

成果・コストの方向性

成果の方向性 ＼ コスト投入の方向性	皆減	縮小	現状維持	拡大
拡充			✓	
現状維持				
縮小				
休廃止				

●構成する予算小事業一覧　（単位：千円）

No.	予算小事業	コスト（評価年度は実績、計画年度は予算）					備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	公害対策事業	13,110	13,102	12,781	12,193	17,966	
2	環境保全事業	1,939	2,822	2,401	2,363	4,888	
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
合計		15,049	15,924	15,182	14,556	22,854	

●外部評価　【　　】年度実施

指摘事項など		対応状況	

丹波市総合計画　令和　5　年度事務事業評価　／　令和　6　年度実施計画

事務事業名	斎場管理運営事業				
事業担当課	生活環境部　環境課		事業期間	平成　16 ～　無期　年度	
	所属長	澤田　知寿	担当	大森　栄司	担当

位置づけ			
総合計画	まちづくり目標	【４】美しい自然と環境を大切にする源流のまち	
	施策目標	1【環境保全】市民ぐるみで環境保全を進め、快適で住みよい丹波市にしよう	
創生総合戦略	基本目標		
	施策		
まちづくりビジョン	取組項目		
根拠法令・個別計画等	墓地、埋葬等に関する法律、　丹波市斎場条例		

計画（PLAN）			
事務事業	対象（誰を、何を）		
	目的 ベストな状態 （期待される効果）	斎場施設の適正な維持管理及び運営により、市民が安心して施設を利用している。	
	概要 （具体的手段・全体計画）	・火葬の受付、実施　・各種保守点検、修繕等施設管理　・斎場使用料の収入管理 ・斎場使用料　火葬人体大人：市内20,000円、市外60,000円　子供：市内10,000円、市外30,000円 火葬胎児他：市内5,000円、市外10,000円　動物：市内5,230円、市外10,470円 霊安室：市内10,470円　市外20,950円 葬祭棟：葬祭場市内52,380円、市外157,140円、和室市内3,140円、市外6,280円 ・実施方法：指定管理、業務委託 ・委託先：㈱五輪他	
	令和５年度の事業概略	・指定管理者との年度協定書の締結 ・指定管理者の運営管理状況について、モニタリングの結果から、よりニーズに沿った適正な運営管理を推進する。 ・火葬炉定期修繕 ・柏原斎場火葬炉設備等更新工事の業者選定を行う	令和６年度の事業概略 ・指定管理者との年度協定書の締結 ・指定管理者の運営管理状況について、モニタリングの結果から、よりニーズに沿った適正な運営管理を推進する。 ・火葬炉定期修繕 ・柏原斎場火葬炉設備等更新工事を行う

実施（DO）

コスト（単位：千円） （評価年度は実績、計画年度は予算）		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
歳出	総事業費　Ａ＋Ｂ	79,235	93,731	85,425	80,919	89,977	425,754	
	直接事業費Ａ	76,719	87,092	81,234	76,461	80,568	416,345	
	総人件費計（Ｅ＋Ｈ）Ｂ	2,516	6,639	4,191	4,458	9,409	9,409	
	職員従事者数（人・年）Ｃ	0.34	0.89	0.55	0.60	1.19	1.19	
	【平均人件費】Ｄ	7,400	7,460	7,620	7,430	7,540	7,540	
	人件費Ｅ＝Ｃ×Ｄ	2,516	6,639	4,191	4,458	8,973	8,973	
	会計年度任用職員従事者数（人・年）Ｆ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.16	0.16	
	【平均人件費】Ｇ	2,000	2,360	2,360	2,530	2,730	2,730	
	人件費Ｈ＝Ｆ×Ｇ	0	0	0	0	437	437	
歳入	特定財源	22,144	28,877	24,272	26,301	25,567	328,357	
	国・県支出金	0	0	0	0	0	0	
	借入金（地方債）	0	6,700	0	0	0	305,100	
	受益者負担金	22,085	21,953	24,160	26,046	25,361	23,257	
	その他特財	59	224	112	255	206	0	
	一般財源	57,091	64,854	61,153	54,618	64,410	97,397	

	指標名	単位	目標／実績	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
活動	柏原斎場人体火葬件数	件	目標	500	500	500	500	500	500	
			実績	528	514	554	659	600		
活動	氷上斎場人体火葬件数	件	目標	330	330	330	330	330	330	
			実績	336	348	377	409	407		
活動	小動物火葬件数	件	目標	450	450	450	450	450	450	
			実績	456	445	491	459	484		
成果	トラブル件数	件	目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0		
コスト	火葬１件あたり（人体・動物）	千円	目標	—	—	—	—	—	—	総事業費 柏原・氷上 人体・動物
			実績	60.0	71.7	60.1	53.0	60.3		
コスト			目標							
			実績							

指標の推移等の背景・分析	令和３年度から令和７年度までの５年間を対象に指定管理へ移行した。

事務事業名	斎場管理運営事業		
事業担当課	生活環境部　環境課	事業期間	平成　16 ～　無期　年度

評価（CHECK）

事務事業全体の実施（DO）に対する、事務事業の展開の評価・課題について

評価視点	評価	理由・コメント	評価視点	評価	理由・コメント
(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	火葬場は市民生活にとって必要不可欠な施設である。	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	A	火葬業務の指定管理により、サービスの向上を図り低コストで運営している。
(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価	A	トラブルなく業務が遂行されている。	(公平性・受益者負担) 公平性に問題はないか。受益者負担検討の余地はないか。	A	使用料について、県内他市と比べ平均的である。

改革（ACTION）

総合的な評価と課題（成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など）

【評価】
令和３年度より指定管理へ移行し、民間活力を活用した施設管理を進めており適切に管理されている。

【課題】
市が施設の運営状況を把握できるよう指定管理者との連携を深めていく必要がある。

今後の方向性・改善策等

・指定管理者制度運用ガイドラインに基づき、計画的な管理に努める。
・指定管理者に対するモニタリングを実施し、適切な管理運営を推進していく。
・斎場施設の統廃合に伴い柏原斎場を継続して使用するため、柏原斎場の火葬炉設備等更新工事を行う。令和６年度は、建築物の改修と火葬炉設備２基の工事を予定している。

成果・コストの方向性

成果の方向性 ＼ コスト投入の方向性	皆減	縮小	現状維持	拡大
拡充				✓
現状維持				
縮小				
休廃止				

●構成する予算小事業一覧　（単位：千円）

No.	予算小事業	コスト（評価年度は実績、計画年度は予算）					備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	斎場管理運営事業	83,247	81,234	76,461	80,568	76,635	
2	斎場管理運営事業（繰越）	3,845				600	
3	斎場施設整備事業					339,110	
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
合計		87,092	81,234	76,461	80,568	416,345	

●外部評価　【　　】年度実施

指摘事項など		対応状況	

丹波市総合計画　令和　5　年度事務事業評価　／　令和　6　年度実施計画

事務事業名	畜犬等関連事業				
事業担当課	生活環境部　環境課		事業期間	平成　16 ～　無期　年度	
	所属長	澤田　知寿	担当	大森　栄司	担当　藤田　敏生

位置づけ		
総合計画	まちづくり目標	【４】美しい自然と環境を大切にする源流のまち
	施策目標	1【環境保全】市民ぐるみで環境保全を進め、快適で住みよい丹波市にしよう
創生総合戦略	基本目標	
	施策	
まちづくりビジョン	取組項目	
根拠法令・個別計画等	狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律、県動物の保護及び管理に関する条例	

計画（PLAN）

事務事業				
対象（誰を、何を）	ペットを飼養する住民及び丹波市内の全ての愛玩動物			
目的 ベストな状態 （期待される効果）	・飼養している犬の登録を行い、迷い犬の早期発見、適正な飼育を行う。 ・狂犬病予防注射の実施により狂犬病の発生の予防と蔓延を防止する。 ・犬猫等、ペットを適正に飼養し、ペットと人間が共生する社会づくりを目指す。			
概要 （具体的手段・全体計画）	・犬猫等のペットの過剰繁殖の抑制等、適正な飼養指導及び啓発・周知 ・畜犬の登録 ・狂犬病予防注射の実施 ・畜犬システムによる犬の登録、狂犬病予防注射数等を把握 ・実施方法：直接実施、業務委託			
令和５年度の事業概略	・ペット動物の適正な飼養指導及び周知 ・畜犬の登録 ・狂犬病予防注射の実施	令和６年度の事業概略	・ペット動物の適正な飼養指導及び周知 ・畜犬の登録 ・狂犬病予防注射の実施	

実施（DO）

コスト（単位：千円）（評価年度は実績、計画年度は予算）	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
歳出　総事業費　A＋B	5,089	4,298	4,546	5,373	10,323	10,770	
直接事業費A	1,477	1,718	1,632	1,509	2,411	2,858	
総人件費計（E＋H）B	3,612	2,580	2,914	3,864	7,912	7,912	
職員従事者数（人・年）C	0.48	0.33	0.37	0.52	0.89	0.89	
【平均人件費】D	7,400	7,460	7,620	7,430	7,540	7,540	
人件費E＝C×D	3,552	2,462	2,819	3,864	6,711	6,711	
会計年度任用職員従事者数（人・年）F	0.03	0.05	0.04	0.00	0.44	0.44	
【平均人件費】G	2,000	2,360	2,360	2,530	2,730	2,730	
人件費H＝F×G	60	118	94	0	1,201	1,201	
歳入　特定財源	2,112	2,278	2,324	2,342	2,530	2,189	
国・県支出金	0	0	0	0	0	0	
借入金（地方債）	0	0	0	0	0	0	
受益者負担金	2,112	2,278	2,324	2,342	2,530	2,189	
その他特財	0	0	0	0	0	0	
一般財源	2,977	2,020	2,222	3,031	7,793	8,581	

	指標名	単位		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
成果	狂犬病予防注射接種率	%	目標	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	
			実績	83.1	84.9	76.9	86.5	94.6		
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
コスト			目標							
			実績							
コスト			目標							
			実績							

指標の推移等の背景・分析	登録犬の中には、転居不明や死亡による登録抹消がされず犬が存在しているものがあり、狂犬病予防注射の接種率に影響している。

事務事業名	畜犬等関連事業		
事業担当課	生活環境部　環境課	事業期間	平成　16 ～　無期　年度

評価（CHECK）

事務事業全体の実施（DO）に対する、事務事業の展開の評価・課題について

評価視点	評価	理由・コメント	評価視点	評価	理由・コメント
(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	狂犬病予防法に犬の飼い主に登録と狂犬病予防注射接種が義務付けられ、また、兵庫県動物の愛護及び管理に関する条例に県の動物愛護管理施策に協力することが規定されており、市民の生活環境の保全とペット動物の適正飼養の取組として必要性がある。	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	A	市内動物病院に畜犬登録及び狂犬病予防注射済票の交付事務を委託しており市職員の人件費を抑えている。
(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価	A	狂犬病予防注射接種率は、高水準で推移しており、動物病院での注射済票の交付委託の効果が出ている。	(公平性・受益者負担) 公平性に問題はないか。受益者負担検討の余地はないか。	A	犬の飼い主に対して、犬の登録手数料、狂犬病予防注射済票交付手数料を徴収し、それにより施策を実施しているため、受益者負担ができている。他自治体も同額の手数料である。

改革（ACTION）

総合的な評価と課題（成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など）

【評価】
・犬の登録と狂犬病予防注射を動物病院での犬の鑑札や注射済票の交付を委託することで、狂犬病予防注射接種率が向上している。
・転居先不明や生後25年程度の犬が登録されたままになっていたため、対象の把握及び登録抹消の基準を定め、基準に該当した犬について一時抹消を行い不要な通知等の削減に繋がった。

【課題】
・猫の糞尿への苦情が多く、室内飼育、不妊手術、無責任な餌やりの禁止など適切な飼い方に関する啓発が必要であるとともに、飼い主のいない猫の増加を抑制するための不妊・去勢手術費の助成を行い、地域での取組を促していく必要がある。

今後の方向性・改善策等

・令和５年度は国の新型コロナウイルス感染予防対策の変更に伴い獣医師会と協議し集合注射を再開したが、集合注射の参加者が少なく、獣医師会と協議し、令和６年度から集合注射を取りやめることとした。
・兵庫県が策定した猫の適正管理普及推進のためのガイドラインや丹波市地域猫活動の手引きを活用し、地域猫活動を推進していくとともに、地域猫活動団体が実施する不妊・去勢手術費用の一部助成を行い、各地域が主体的に「猫の問題」に取り組んでいけるよう、サポートを進める。
・ワンストップサービスについて、他の自治体の動向を見ながら対応を検討していく。

成果・コストの方向性

成果の方向性 ＼ コスト投入の方向性	皆減	縮小	現状維持	拡大
拡充				
現状維持			✓	
縮小				
休廃止				

●構成する予算小事業一覧　（単位：千円）

No.	予算小事業	コスト（評価年度は実績、計画年度は予算）					備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	畜犬等関連事業	1,718	1,632	1,509	2,411	2,858	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
合計		1,718	1,632	1,509	2,411	2,858	

●外部評価　【　　】年度実施

指摘事項など		対応状況	